

(目次) 頑張る地方応援プログラム

都道府県名	団体コード	市区町村名	プロジェクト名称	プロジェクトの目的、概要 及び 具体的な成果目標	プロジェクト 期間	具体の事業・施策(名称)	具体の事業・施策 (事業概要)	事業費 (計画全体) (単位:千円)	事業費 (平成21年度) (単位:千円)	政策分野 の分類 ( ~ )	新規・継続 の区分
奈良県	292109	香芝市	徴収対策強化プロジェクト	<p>(目的、概要)三位一体の改革により、国庫補助負担金が削減された一方で、地方自治体への税源移譲が行われ、市税歳入の中で、税の占める割合は、なお、一層、重要性を増している。また、地方自治体を巡る厳しい財政状況の中、自主財源の重要性は非常に大きい。そこで、市税、国民健康保険料等の徴収対策強化の充実にめざす。</p> <p>(具体的な成果目標)徴収率の向上をめざす。 ・市税徴収率の具体的な目標92.1%(目標年次平成21年度)参考:平成17年度徴収率88.1%,平成18年度徴収率89.6%,平成19年度徴収率90.4%,平成20年度徴収率91.7% ・国民健康保険料徴収率(現年分)の具体的な目標95%(目標年次平成21年度)参考:平成17年度徴収率93.1%,平成18年度徴収率93.5%,平成19年度徴収率94.02%,平成20年度徴収率91.06%</p>	h20～h21	徴収対策専門員雇用事業	市税、国民健康保険料などの徴収対策についての専門的知識・経験・ノウハウを持つ職員を雇用し、徴収対策の強化充実と市職員の能力向上をめざす。	7,500	3,750	1	継続
						総計		7,500	3,750		
					<a href="http://www.city.kashiba.nara.jp/outside/kakuka/kikakuseisakuka/ganbaru/">http://www.city.kashiba.nara.jp/outside/kakuka/kikakuseisakuka/ganbaru/</a>						
奈良県	292109	香芝市	子育て支援プロジェクト	<p>(目的、概要)全国的に少子高齢化が進み、人口減少時代が本格化したいま、香芝市においては、全国でも有数の人口増加が続いている。この人口増加の核となっているのが、いわゆる「子育て世代」であり、香芝市では、平成18年度末の年少人口比率は、18.03%となり、年々増加を続けている。そこで、この利点を生かし、「子育てしやすいまちづくり」をさらに進めていくことをめざす。</p> <p>(具体的な成果目標) 全国的に少子化が進む中ではあるが、本市では人口増加が続いているので、平成18年度末の年少人口比率18.03%の維持を目標とし、平成18年度末の年少人口13,166人からの増加をめざす。 (平成19年度末 18.00% 13,288人 平成20年度末 18.03% 13,468人)</p>	h19～h21	子育て支援センター建設及び運営事業	「香芝高校次代の親育成モデルーム」を市主体で運営していたが、利用者増や施設の手狭からエコー・マミッシュセンターを借りて、火、水、木曜日の週3回実施に拡充した。つどいの広場や子育て支援センターにおいて、子育てで家庭の交流、子育てに関する相談指導等の事業を展開していく。	80,250	14,030	3	継続
						乳幼児等医療費助成事業	平成19年8月より、乳幼児等医療費助成事業について、通院は、県の基準にあわせて、助成対象を3歳児未満から就学未満まで延長。入院は、市単独事業で県下最長となる小学校卒業までの助成を実施。	10,500	3,000		
						総計		90,750	17,030		
					<a href="http://www.city.kashiba.nara.jp/outside/kakuka/kikakuseisakuka/ganbaru/">http://www.city.kashiba.nara.jp/outside/kakuka/kikakuseisakuka/ganbaru/</a>						
奈良県	292109	香芝市	駅周辺整備プロジェクト	<p>(目的、概要)香芝市では、市内に8つの駅がほぼハランスよく配置されており、交通の利便性が高く評価されているところである。本市では、基本構想においても、「駅を中心とした都市的にぎわいの創造」を重点施策のひとつに掲げ、この鉄道駅を市内各地域の中心核として、それぞれの特性に応じた、まちづくりを進めている。具体的には、駅舎および駅前広場、アクセス道路などの駅周辺の整備を、順次計画的に進めることによって、駅の利便性を高め、駅を中心性を増し、業務商業機能の集積を図り、都市的機能の充実にめざすものである。</p> <p>(具体的な成果目標) (目標年次 平成22年度) 駅前広場利用者4,440人/日(H18年度 4,440人/日) 道路整備満足度 50%(H13年度 27%) 近鉄下田～JR香芝駅間の移動所要時間6分(H18年度 7分)</p>	h18～h22	近鉄下田駅北地区整備事業	当地区は本市の中心市街地として都市機能の向上等の進捗が期待される地域であるが、現在道路整備、土地の有効活用、災害時の防災機能、都市基盤の整備は十分に行われていない。また、近鉄下田駅周辺地区において歩道整備が遅れていることから、鉄道利用者のアクセス性の向上を図り、安全なまちづくりを行う目的として、都市計画道路香芝南廻り線(駅前広場)の整備を行うとともに近鉄下田駅～JR香芝駅間の道路整備事業を行う。 (都市計画道路香芝南廻り線整備事業・市道6-46号線整備事業・地域防災施設整備事業・広場整備事業・情報板設置事	1,076,000	287,000	7	継続
						総計		1,076,000	287,000		

					<a href="http://www.city.kashiba.nara.jp/outside/kakuka/kikakuseisakuka/ganbaru/">http://www.city.kashiba.nara.jp/outside/kakuka/kikakuseisakuka/ganbaru/</a>
--	--	--	--	--	---

- 1 「プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標」、「具体の事業・施策（事業概要）」欄は、個票から適宜要約してください。
- 2 「プロジェクトの期間」欄は、プロジェクトを構成する事業・施策の計画年度をもとに記入してください。
- 3 「政策分野の分類」欄には、以下の1～11のいずれか1つを記入してください。なお、複数の政策分野に重複すると考えられる場合は、各地方公共団体の判断により、最も近いものを記入してください。
  - 1 地域経営改革プロジェクト、2 地場産品発掘・ブランド化プロジェクト、3 少子化対策プロジェクト、4 企業立地促進プロジェクト、5 定住促進プロジェクト、6 観光振興・交流プロジェクト、
  - 7 まちなか再生プロジェクト、8 若者自立支援プロジェクト、9 安心・安全なまちづくりプロジェクト、10 環境保全プロジ
- 4 「事業費」欄は、総事業費を記入してください。
- 5 「団体コード」欄には、6桁の地方公共団体コードを半角数字で記入してください。
  
- 6 「新規・継続の区分」欄は、平成19年度に応募したプロジェクトの継続であるものについては「継続」に、平成20年度に新たに応募するプロジェクトについては「新規」にそれぞれ分類してください。  
なお、平成19年度に応募したプロジェクトの変更、追加、分割等を行った場合においては、おおむね以下の例を参考として、各地方公共団体の判断により、「継続」又は「新規」に分類してください。また、「新規」の場合、応募する前に、その内容を住民に公表してください。  
分類例  
(1) 事業費の変更 「継続」
  
- 7 「ホームページアドレス(ある場合のみ)」の文字は削除した上で、ホームページアドレスを記入してください。